「津山市版事業仕分け」の実施について

１．実施目的

多様化する市民ニーズや新たな課題に適切に対応していくためには、現在実施している事業や行政システムなど市政全般について順次見直しを行わなければなりません。

現行の事業を「現場」「市民」の視点で洗い直すことにより、個々の事業のムダをなくすことはもとより、行政全体の見直しに結び付けていくことを目的とします。

津山市版事業仕分けは、次の３点に重点をおくこととします。

① 市民の視点に立った施策の展開と市民への説明責任
② 市民と行政の共創協働意識の醸成
③ 職員の意識改革

２．開催日時

平成 23 年 11 月 19 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
20 日（日） 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

３．開催会場

津山市役所　２階　大会議室

４．事業数

２日間で１５事業

５．仕分け人

津山市行財政改革推進委員会専門委員　６名

６．市民評価委員

無作為抽出により、平成 23 年 7 月 1 日現在で 18 歳以上の市民 1,000 名を選び、郵送にて依頼しました。
参加希望の応募をいただいた市民の皆様全員に市民評価委員として参加いただきます。
両日参加希望をいただいた方も、どちらか１日の参加のお願いをさせていただきました。
（両日で 70 名の参加を予定しています。）

７．仕分け作業　　１事業につき約４５分

・事業担当課職員による事業内容の説明　　（１０分）

・仕分け人と事業担当課職員による質疑応答　　（２５分）

（市民評価委員の質疑時間(約 5 分)も設けます。

・市民評価委員による評価（判定）　　（　８分）

※　仕分け人にも評価（判定）をしていただきますが、
あくまで参考意見としての扱いとさせていただきます。

・仕分け人による論評　　（　２分）

８．評価（判定）　　評価（判定）は、市民評価委員による多数決で行います。
市は、その評価（判定）結果を最大限尊重して、各事業の今後の方針を策定することとなります。
したがいまして、この評価（判定）結果が、市の最終判断ではありませんので、ご了承ください。

判定結果は①～⑥までの６択とする。

必要か？→不要→「①廃止」
→必要→誰がすべき？→「②民間」
→「③国・県」
→　市　→どうすべき？→「④市が現状維持で実施」
→「⑤市が要改善で実施」
→「⑥市が拡大・充実で実施」

コーディネーターと仕分け人

区　分	氏　　名	所　　属
コーディネーター	多田 憲一郎	岡山商科大学 経済学部長
仕分け人	鳥越　良光	岡山商科大学大学院 商学研究科教授
仕分け人	後山 富士水	津山市連合町内会 会長
仕分け人	小山　京子	美作大学 准教授
仕分け人	村岡　政明	（株）公益創造センター 代表取締役
仕分け人	小西　治之	中国税理士会津山支部